

平成 22 年 6 月 14 日

(社) 日本技術士会・近畿支部
機械システム部会 各位

機械システム部会
会長 飯野 勝彦

第 24 回 機械システム部会 例会開催のご案内

第 24 回例会を下記のとおり開催しますので多数ご参加頂きますようご案内致します。
機械部門の技術士・技術士補に限らず、経営工学、航空・宇宙、原子力・放射線、金属等他
部門の技術士や修習技術者の方々の参加也大歓迎です。

記

1. 日 時：平成 22 年 7 月 10 日（土）

13 時 ～ 13 時 30 分：受付

13 時 30 分～14 時 30 分：講演 1（十川 洋一 技術士）

14 時 30 分～14 時 45 分：質疑

14 時 45 分～15 時：休憩

15 時 ～ 16 時：講演 2（牧野 隆 技術士）

16 時 ～ 16 時 15 分：質疑

17 時 ～ 19 時：懇談会（中華ダイニング 且緩々【しゃかんかん】）

<http://r.gnavi.co.jp/k594700/>

2. 場所：大阪科学技術センター 600 号室（大阪市西区靱本町 1-8-4）

<http://www.ostec.or.jp/data/access.html>

3. 講演題目と講師

（1）講演 1

講 師：十川 洋一技術士（機械部門）

講演題目：PCB 廃棄物処理設備の機械設計例

（講師略歴及び講演概要は、〔別紙 1〕参照願います。）

（2）講演 2

講 師：牧野 隆 技術士（機械部門）

講演題目：海外での塗料製造工場の建設

（講師略歴及び講演概要は、〔別紙 2〕参照願います。）

4. 会費

講演会：1,000 円 懇親会：3,000 円（講演会＋懇談会：4,000 円）

5. 参加申し込み

下記アドレス宛、講演会、懇親会のご連絡をお願い致します。どちらも不参加の場合は、
連絡不要です。pe_kinki_kikai_system@yahoo.co.jp

（注）迷惑メール防止のために E メールアドレスの@の前に半角スペースを入れています。申込みの際、
@の前の半角スペースを削除して送信願います。以上

十川 洋一技術士の履歴

1983 年 3 月 大阪府立大学 工学部 機械工学科 卒業
1985 年 3 月 大阪府立大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 修了
1985 年 4 月 株式会社神戸製鋼所入社
製鉄機械（条鋼圧延機、冷却床など）の設計に従事
破碎機械（セメント粉碎ミル、振動ふるいなど）の設計に従事
2001 年 7 月 株式会社神鋼エンジニアリング&メンテナンス入社
溶融炉、建設残土処理機械などの設計に従事
2010 年 7 月 高砂事業所 機械技術部 機械技術室 所属

2008 年 3 月 技術士第二次試験合格
2008 年 4～5 月 技術士(機械部門)登録加工・ファクトリーオートメーション及び産業機械
(社) 日本技術士会および日本技術士会近畿支部機械システム部会に入会

保有資格等： エネルギー管理士（熱）、騒音・振動関係公害防止管理者など
2009 年、2010 年度 大阪府立工業高等専門学校 非常勤講師

講演概要

かつてトランスなどに封入されていたダイオキシン類の一つである PCB（ポリ塩化ビフェニル）は、40 年以上前に当時わからなかったその毒性によりカネミ油症という公害を引き起こした。PCB は、分解されにくく、安易に焼却や廃却ができないため、今日まで（処理技術が確立するまで）法律により保管が義務付けられてきた。PCB 特別措置法（2001 年）により、2016 年までに PCB を全て処理することとなり、10 年ほど前から各社が PCB を無害化する各種技術を確立してきていた。神鋼グループとしてもそれに取り組み、プラズマの熱で PCB を分解する実験設備をつくり、国の技術審査に合格していた。今回当社が同技術に基づいて、北九州にプラズマ溶融炉で PCB を処理する機械設備（実用機では日本初）の設計・製作を受注した。設計・製作を進めていく中で、予期せぬ難題がいくつか発生したが、会社をあげてそれらを具体的にどのように解決していったかを講演する。

本講演は、2009 年度に大阪府立工業高等専門学校の 5 年生に 100 分で講義した内容を多少アレンジしたものである。技術士の先生方には、20 歳の学生に戻った新鮮な気持ちで 1 つのエピソードとして聞いていただければと考えている。また、高専の学生には、来年やる気をもって社会人としての第一歩を踏み出せるように、また仕事を達成するための努力を感じてもらえるように講義したつもりであったが、その意図が伝わったかどうか、学生の所感レポートもいくつか披露したい。

以上

〔別紙 2〕

平成 22 年 6 月

牧野 隆 技術士の履歴

1975 年 3 月	宮崎大学 工学部 機械工学科 卒業
1975 年 4 月	関西ペイント(株)入社 塗料製造の設計、生産設備（濾過、攪拌）の応用設計 合成樹脂プラントの設計 廃水処理用担体の製造設備設計
2002 年 3 月	技術士第二次試験合格
2002 年 4 月	技術士（機械部門）登録 産業機械
2002 年 4 月	生産本部 エンジニアリング部 所属 海外工場建設及び国内の塗料製造プラント設計に従事
2009 年 4 月	生産本部 安全環境推進部 所属

保有資格等： エネルギー管理士（熱、電気）、
公害防止管理者（第 1 種水質、第 1 種大気、騒音）、
高圧ガス製造保安責任者（甲種機械、甲種化学、第 1 種冷凍）
計量士（一般計量、環境計量）、労働安全コンサルタント（機械） など
2009 年度 大阪府立工業高等専門学校 非常勤講師

講演概要

関西ペイント(株)は主として自動車用塗料を製造しており、日本国内では自動車メーカーに近接する立地条件の工場にて塗料を製造している。近年、日本の自動車メーカーは主に新興国（特にタイ、中国、インドなど）での自動車生産増を積極的に行っているが、塗料品質は日本国内と同じものを要求している。自動車メーカーが進出したタイ、中国およびインドにおいて、塗料用原料である合成樹脂の製造プラントおよび塗料製造工場を建設したので、その時の建設設計にあたり、インフラ、文化の違いなどを交えて講演します。

本講演は、2009年度に大阪府立工業高等専門学校の5年生に講義した内容をアレンジしたものである。学生には、海外は国力・文化の違いがあるので、日本流が全て正解ではなく現地に合わせた対応が必要であること、将来の日本は技術力を武器としての繁栄するべく、日々研鑽（世界に通用する技術や語学習得（特に英語・中国語））し、国際人となるべき事を強調した。

以上